



10月17日は
貯蓄の日

「お金」と上手に付き合おう

「お金」は私たちの日常生活に欠かせない大切なものです。だからこそ、正しい知識を基に、活用したいもの。そこで必要となる「金融リテラシー（お金の知識・判断力）」や、お金との上手な付き合い方について、山形県金融広報委員会副会長で日本銀行山形事務所長の川村憲章さんに伺いました。

お金との付き合い方は 必要不可欠な生活スキル

広告



山形県金融広報委員会副会長
日本銀行山形事務所 所長
川村 憲章氏

「最近、「お金」への関心が高まっているといわれます。「人生100年時代」の到来を見据えた家計管理や資産形成に対する関心が高まっています。また成年年齢の引き下げや高校向け新学習指導要領の実施に伴い、学校から金融教育に対する支援ニーズが多く寄せられています。」

知識は東北首位 トラブルが多発

「山形県民の金融リテラシーはいいのですが、

「金融リテラシー調査2022年」によれば、山形県の金融知識・判断力に関する正誤問題の正答率は東北地方トップ（全国14位）でした。内訳をみると、60～79歳は全国10位、30～59歳は全国23位、18～29歳は全国42位と、シニアの正答率が高い一方、若者の正答率が低い状況でした。気になるのは、金融トラブルの多さです。金融トラブルの経験者の割合は11・9％と全国で最も高い状況でした。

講師を無料派遣 HPもぜひ活用

「金融リテラシー」を身に付けるための方法は？
山形県金融広報委員会では、中立・公正な団体とし

人生の三大費用とは？

正解は、
①住宅費用
②教育費用
③老後費用

建売住宅平均価格
東京都5261万円
山形県2797万円
住宅金融支援機構調査

で、「お金との付き合い方」を広く県内の方々に知っていただくための広報活動をしています。具体的にはセミナーや講演会の開催、専門知識を持つ金融広報アドバイザーの無料派遣などを行っています。10月28日（土）には、菊地幸夫弁護士等をお招きし「くらしとのかね講座」を山形デルサで開催します（申し込み締め切り10月23日）。金融広報中央委員会（愛称「知るぽろ」）のホームページでは、家計や資産管理に関するシミュレーションやクイズで楽しく学べます。動画で学ぶお金の知識「マネビタ」も無料で受講できます。成年年齢引き下げを踏まえ「18歳までに学ぶ契約の知識」も掲載しています。ぜひご活用ください。

お金を知って 豊かな人生を

「貯蓄の日」に当たり、山形県民にメッセージを。「人生の三大費用」を存じでしょうか？正解は①住宅費用②教育費用③老後費用の三つです。首都圏に居住される方等では①住宅費用②教育費用に過大な支出を行い、③老後費用や生活費が少なくなり、生活を楽しめない方が多いといわれます。山形県で住宅を買い、東京都内の場合の半分程度で済み、2500万円もの金額を生活費等に振り向けられ、敷地面積は倍以上になります。さまざまな判断があり得ますが、ライフプランや資金計画を立て、必要なお金を現実の課題として考え、その上で最良の選択を行うことが重要です。「お金との付き合い方は必要不可欠な生活スキル」との認識を持ち、金融知識・判断力の向上に積極的に取り組み、生活の充実やトラブルの防止につなげていただければ幸いです。